

“鉄の記念日”懸賞写真 募集について

本年の“鉄の記念日”行事（本会共催）の一環として、下記の要領により写真コンクールを催すこととなりました。会員諸君には奮って御応募下さい。

募 集 要 領

1. 題 材: 「生活とつながる鉄」鉄の生産面（原料、輸送面などを含めて）、鉄の利用面（鉄の加工品、製品の製造とその使用、利用）を通じて、鉄がわれわれの社会生活、家庭生活を向上させ豊かにするために、いかに広く深く食いついているかの姿を表現したもの。
2. 作 品: 四ツ切（黑白写真のみ）画題、カメラ名、絞り、シャッター、天候などデータ記入のこと。未発表作品に限る。
3. 締切り: 10月31日
4. 写真送付先: 千代田区丸ノ内1の1
日本鉄鋼連盟総務部広報課
5. 発 表: 入選作品は雑誌“鉄鋼界”その他共催団体機関誌12月号誌上に発表、なお東京では一定期間適当な会場に優秀作品を公開展示する。
6. 賞 金

入 選	1等	鉄鋼連盟会長賞	副賞	10,000円	1名
	2等	〃	〃	5,000円	2名
	3等	〃	〃	3,000円	5名
佳作			1,000円	若干名	

秋季大会（大阪）附設展示会について

今秋大会を機に日本金属学会と連合で各社の製品を多数集めて展示会を開催します。是非御参観下さい。あわせて関係各社の出品をおすすめします。

会 場: 大阪大学工学部

会 期: 11月3, 4, 5の3日間

展示料金:

テーブルの大きさ	料 金
0.8m×1.9m	15,000 円
0.8m×0.95m	8,000 円

テーブル数は制限しませんから希望の数だけお申込み下さい。詳細については次の連絡事務所へお申入れ下されば係員が参上して御説明申し上げます。

出品申込期日: 10月20日限り

出品申込場所: 大阪市都島区東野田町 大阪大学工学部
冶金学教室内展示会係

連絡事務所: 大阪市大淀区天神橋筋 天六阪急ビル
株式会社中外鋳業社内
遠山義夫・都筑賢蔵
電 堀川 (35) 5435, 5705

電気弧光炉用誘導攪拌装置についての特別講演会開催

スエーデン ASEA 社誘導攪拌装置部長 Birtil Henrik Hanas 氏の来日を迎え、つぎの通り特別講演会を開催いたしますので多数御聴講下さい。

日 時: 10月22日(木) 午後1時半より

場 所: ブリヂストンホール 東京都中央区京橋1-1 ブリヂストンビル内

講 師: 電気弧光炉用誘導攪拌装置について

ASEA 社誘導攪拌装置部長 Birtil Henrik Hanas

東北支部特別講演会開催

東北鉄鋼協議会と共催で、八幡製鉄渡辺記念資金による秋田地区特別講演会をつぎの通り開催致しますから多数御来聴下さい。

1. 日 時: 昭和34年10月19日(月) 午前9時開会

2. 会 場: 秋田大学鉱山学部

3. 講 演: (イ) 砂鉄の製錬について 東北大学工学部長 工博 的 場 幸 雄
 (ロ) 鋳鋼の湯流れと鋳造方策 東北大学工学部教授 工博 大 平 五 郎
 (ハ) 製鋼過程における熔鋼の含有ガスの変化について 東北大学選鉱製錬研究所教授 工博 三本木 貢 治

4. 懇 談 会: 午後1時より3時

「鉄鋼の真空冶金」シンポジウム開催

大阪における秋季大会を機に日本化学会、日本金属学会、真空冶金同好会、近畿化学工業会と共催の下に標記シンポジウムを開催いたします。奮って御参会下さい。

日 時: 昭和34年11月3日および4日の両日

会 場: 大阪大学工学部 (大阪市都島区東野田9丁目)

第1日 11月3日

午前 午前 9.40~10.10	1 鋼の真空溶解の現状	早稲田大学理工学部	長谷川 正 義
10.20~10.50	2 鉄鋼の真空溶解に関する基礎的考察	東北大学選研	○齋藤 恒三 川 合 保 三
11.10~11.50	3 溶鉄中の炭素と耐火物との反応について(幻)	北海道大学理学部	○丹羽 貴知 山 井 明 蔵 新 弘 正 蔵
午後 午後 1.00~1.30	4 真空処理による溶鋼の脱ガスについて	東北大学選研	○三本木 貢治 大 森 康 治 田 恒 男
1.40~2.10	5 真空アーク溶解について	日本電子光学研究所	富 田 恒 男
2.20~2.50	6 真空溶解鋳造設備	日本真空技術	林 主 税
3.10~3.40	7 真空脱ガス鋳造とその装置	神 港 精 機	藤 高 六 助
3.50~4.20	8 真空溶解した鋼材の性質	大阪大学工学部	足 立 彰
4.30~5.00	9 工具鋼の真空溶解	東北金属工業	池 内 駿 佐 藤 隆 中 村 幸 二

第2日 11月4日

午前 午前 9.00~9.40	10 耐熱鋼の研究(Ⅱ) 耐熱鋼の高温特性におよぼす溶解法の影響(幻)	日本冶金工業川崎製造所	川 畑 正 夫 横 田 孝 三 加 藤 正 一
9.50~10.20	11 パーマロイの真空溶解について	住友金属工業電磁気材事業部	青 柳 哲 夫
10.30~11.00	12 コンセルアーク溶接せる金属材料の特性(幻)	神戸製鋼所	西 原 芳 郎
11.10~11.40	13 真空脱ガス鋳造による特殊鋼の性質	関東特殊製鋼	○八 朝 熊 利 彦

北 陸 支 部 講 演 会 開 催

非破壊検査に関する講演会

共 催 . 日本非破壊検査協会, 日本材料試験協会, 日本金属学会北陸信越支部

期 日 1959 年 10 月 30 日 (金)

場 所 富山大学黒田講堂 (富山市五福 駅前より高岡行バスで大学前下車)

講演題目および講師

9:00~9:10	開 会 の 辞	日本非破壊検査協会々長	西 田 正 孝
9:10~9:20	換 拶	富山大学教授	長 元 亀久男
9:20~11:00	放 射 線 検 査 に つ い て	東京大学教授	一 色 貞 文
11:00~12:30	超 音 波 検 査 に つ い て	東京大学助教授	丹 羽 登
13:30~15:00	電 磁 気 お よ び 浸 透 検 査 に つ い て	不二越鋼材工業軸受検査課長	川 崎 宜 太 郎
15:00~16:30	歪 測 定 に つ い て	理化学研究所主任研究員	西 田 正 孝
16:30~16:40	当 社 に お け る 非 破 壊 検 査 の 現 状	小松製作所取締役粟津工場長	佐 藤 登 子 吉
16:40~16:50	閉 辞 の 会	日本鉄鋼協会北陸支部長 不二越鋼材 常務取締役	橋 浦 彦 三
17:00~18:00	懇 親 会	会費 500円 希望者のみ	

なお非破壊検査部門および光弾性部門の懇談会 (10 月 31 日) 展示会 (10 月 30, 31 日)
および見学旅行 (11 月 1 日, 2 日) も行われます。

支部秋季講演会開催について

本会北陸支部においては、つぎの通り開会の予定であります。なお詳細は次号に掲載します。

申 込	題目, 講演者, 所要時間, 幻灯使用の有無, 講演申込締切	昭和 34 年 9 月 30 日
会 期	昭和 34 年 11 月 15 日 (日) 午前 9 時 30 分~午後 4 時 30 分講演会 昭和 34 年 11 月 16 日 (月) 見学会 (富山西部地区)	
会 場	富山大学経済学部一番教室 (富山市五福) バス 富山→高岡行 五福大学前下車	
申込先	(連絡先) 日本鉄鋼協会北陸支部 (富山市石金 20 不二越鋼材工業株式会社技術研究所内)	

金属の研究試験工場に関するシンポジウム

開催(インド)について

インド National Metallurgical Laboratory から明 1960 年 2 月初めに標記シンポジウムを開催する旨案内がありましたのでお知らせいたします。

申込要領

論文抄録 4 部—10 月半ばまでに National Metallurgical Laboratory, Jamshedpur-7 India に到着するよう送ること, 論文の全文 4 部—11 月なかばまでに送ること。

論文の種類

1. 世界の国々で行われている冶金研究および進歩に関する重要な pilot plant 計画の概要。
2. 低品位鉄鉱および非鉄鉱石の選鉱, 熱的および化学的利用に関する pilot plant.
3. 鉄鉱製錬用低炉, 酸素製鋼法, 鉄鉱の直接還元, その他鉄鋼製造技術に関する pilot plant.
4. 金属の電氣的採取にもとづく電気冶金の pilot plant.
5. 新しい耐火物製造に関する pilot plant および工業における市場評価。
6. 鉄, 非鉄金属の熱間および冷間加工に関するもの。
7. Anti corrosive hot dip coating 法, 例えば aluminising, decorative-cum-protective chemical process などのような金属処理に関する pilot plant.
8. pilot plant 構成のための資材, 道具, 装置など。
9. その他。

第1回原子力研究総合発表会について

過去3回に亘る原子力シンポジウムに代り、本会ほか日本原子力学会など28学協会共催の下に原子力研究総合発表会が開催されることとなりその第1回発表会が下記要領により開催され、講演を募集しております。

1. 開催時期 昭和35年2月11～13日の3日間
2. 場 所 神田学士会館の大集会室，北大食堂，南大食堂
3. 共催学協会 本会ほか日本原子力学会など28団体
4. 実施要領
 - (1) I研究発表会，IIシンポジウムおよびIII総合講演に3別して日程を編成する。
 - (2) 一般から募集するのはIおよびIIで，Iは未発表の論文に限る。
 - (3) IIは研究論文に限定せず，調査報告・試験結果・意見発表のようなものも含み，編成に当つては，Iへの提出論文あるいは依頼論文を加えることがある。
 - (4) 論文発表の講演時間は10分程度とし，後日変更されることがある。
 - (5) 申込講演の採否については選考委員会が，プログラムの編成については運営委員会がこれを決定する。
 - (6) 「要旨集」は発行するが，提出論文をまとめた「報文集」は別に刊行しない。
 - (7) 「要旨集」は前金にて申込み，開会前（1月末頃）確実に入手できる（予価350円）
5. 講演申込方法
 - (1) 講演希望者は，運営委員会（日本原子力学会内）へ申出でれば，申込用紙，「要旨集」原稿用紙，執筆規程を送ります。
 - (2) 講演申込受付は11月1日～11月20日（金）（期限厳守）です。
 - (3) 「要旨集」原稿の提出は12月5日（土）までに必着で願います。

○ 詳細のお問合せは，運営委員会（日本原子力学会内）へお願いします。
日本原子力学会一東京都港区芝田村町1の1日本原子力研究所内

記念出版“俵国一先生を偲ぶ”分譲について

さきに本欄でお知らせいたしました（昭和34年8月号）故俵国一先生の追憶記“俵国一先生を偲ぶ”は，なお残部がありますので，下記実費にてお預けいたします。御布望の方は余部がなくならないうち代金を添え至急協会宛お申込下さい。

記

頒 価.....500円（送料とも）
（A5判総クローズ 472ページ箱入）